

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

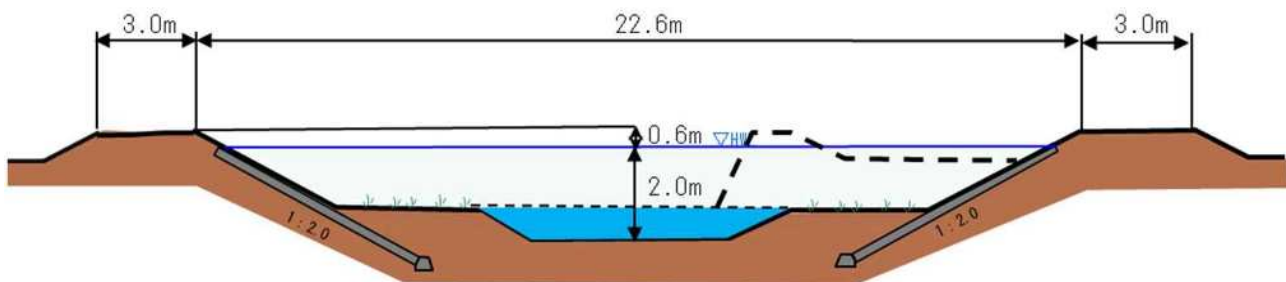
番 号		事業主体	
		栃 木 県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 田川	事業箇所名	宇都宮市、日光市
事業区間	宇都宮市石那田地先～ 日光市木和田島地先	事業延長	8,300m
平成14年度事業採択		平成14年度用地着手	平成15年度工事着手
事業期間	H14 ～ R8	事業進捗状況	基準年次：【令和3年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[4.4億円] 25.0(21.3)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費
進捗率 [48%] 66%			
事業概要			
<p>田川は、日光市七里地先に源を発し、宇都宮市街地を流下し、上三川町、下野市、小山市を経て、茨城県結城市で鬼怒川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大及び遊水地群の整備を行うことにより、治水安全度の向上を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等			
特になし			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果			
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C=5.9	190.8億円	32.6億円 [L=8,300m 区間]
2) 残事業	B/C=2.6	17.5億円	6.8億円 [L=6,400m 区間]
2 事業の整備効果等			
整備により、河川の流下能力が約1.5倍となり、治水安全度の向上が図られる。			
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
事業延長8,300mのうち、角子橋上流から宇都宮市と日光市の市境までの950m及び通目鬼橋下流から田川大橋下流までの950mの整備が完了している。また、宇都宮市と日光市の市境から新細内橋までの5,800mの暫定整備が完了している。			
2 今後の事業進捗の見込み			
用地取得及び工事を推進し、令和8年度を目標に全区間で事業の完了を図る。			
3 事業費の変更理由			
平成27年9月関東・東北豪雨により、事業区間より下流の連節ブロック護岸が被災したことから、護岸をより堅固な構造に見直しを図った。また、労務資材単価の上昇及び消費税増税など事業費精査により全体事業費が増額となった。			
コスト縮減等			
1 コスト縮減方策			
工事の際に発生する残土については、工事間流用により、工事費の縮減を図っている。			
2 代替案立案等の可能性			
事業用地が沿川で実施中の圃場整備事業と連携し確保済であるとともに、計画区間より下流の宇都宮市街地内において、川幅を広げることが困難であることから、河川断面の拡大と併せて遊水地群の整備を行う本計画が最適である。			
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。	

安全な川づくり事業 一級河川 田川 事業箇所(位置図、概要図)

位置図

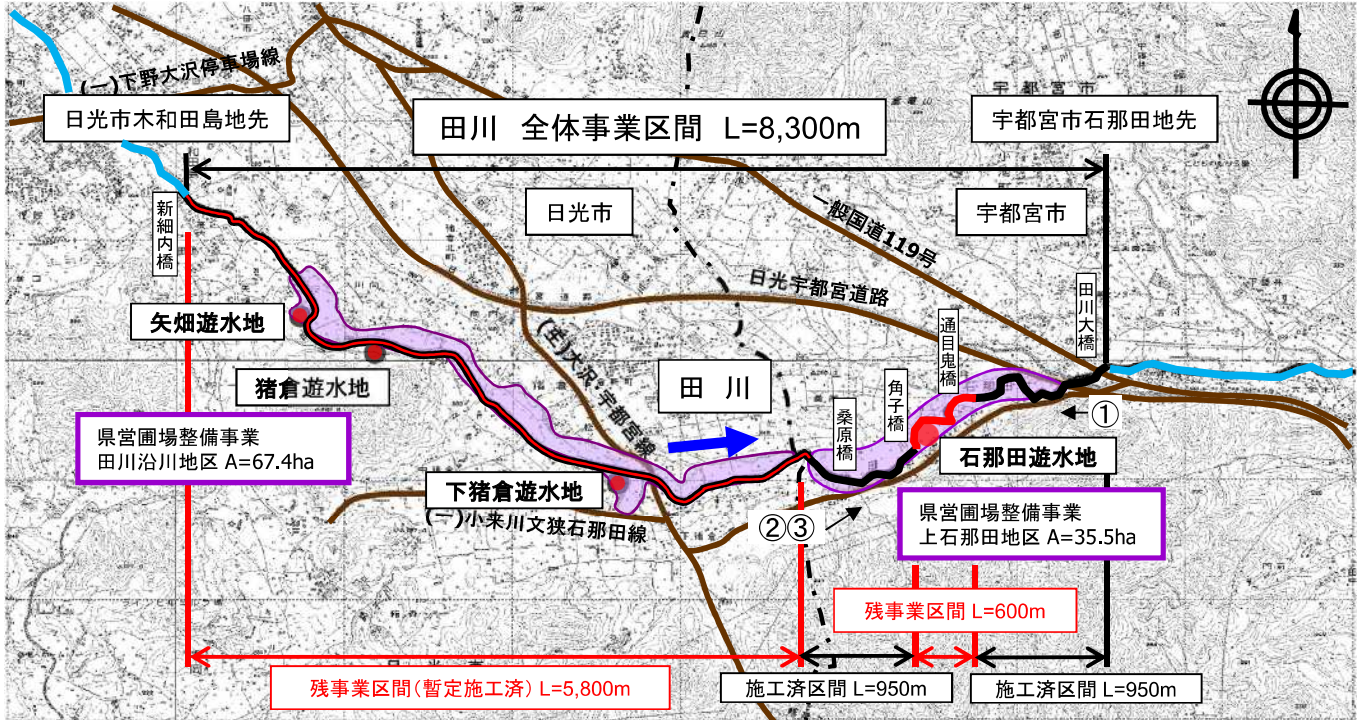


標準断面図



概要図

計画流量	85m ³ /s
現況流下能力	概ね55m ³ /s



①出水状況
日光宇都宮道路
上流



②整備前
桑原橋上流



③整備後
桑原橋上流

